

〔教育委員会 中央図書館 所管〕

10040501 図書館運営管理事業

予算書P. 221

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	122,539	107,220	15,319	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	207	30,130	△ 29,923	図書資料売払代
一般財源	122,332	77,090	45,242	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民の知的要求に応える学習拠点として、平成7年5月に開館した。  
平成28年度から平成30年度まで指定管理者により運営し、令和元年度からは市直営による運営を再開した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民が必要とする図書や情報をいつでも容易に取得できるよう、資料の充実を図る。  
未来を担う子ども達が、読書に親しみ豊かな心を育むことができる読書環境の充実を図るとともに、学校との連携の下、児童・生徒の学習活動を支援する。  
市民との協働の下、生涯にわたる学びを支える機会と場を提供する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

図書や電子資料の収集及び提供、A D E A C (デジタルアーカイブ) の公開により、幅広い図書や情報を提供する。  
第三次守谷市子ども読書活動推進計画に基づき、おはなし会や子ども向けのイベントを開催するとともに、魅力ある図書を収集し、子ども達に届け、読書の楽しさを伝えることにより豊かな心を育む読書環境を整備する。  
また、図書資料の団体貸出やブックトークを実施することにより、児童・生徒の学習活動を支援する。  
ボランティアの育成と支援に継続的に取り組むとともに、講演会、講座及び行事の開催等により、市民の生涯にわたる学びを支える。



中央図書館と公民館図書室を繋ぐ図書館ネットワーク



学校図書館との連携

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	22,458	17,304	5,154	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	22,458	17,304	5,154	

## 【背景(なぜ始めたのか)】

平成18年に策定された「子ども読書活動推進計画」に基づき、平成20・21年度に学校図書館蔵書をデータベース化した。以来、学校と連携を取りながら、学校図書館の整備・活動のための支援を行っている。

## 【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

令和元年度から実施されている学校教育改革プランに基づく「中央図書館と学校図書館による学校図書館の充実」を図るため、読書センター・学習センター・情報センターとしての機能充実に対する支援を行い、学校図書館の発展を図る。

## 【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

- ・読書センターとしての機能充実のため、図書館資料の活用が図られるよう、団体貸出や学校間相互協力を促進する。
- ・学習センターとしての機能充実のため、学校図書館を活用した授業づくり等を実施できるよう、学校司書が資料提供やブックトーク等により授業支援を行う。
- ・情報センターとしての機能充実のため、図書館の電子資料や情報を活用できるよう、中央図書館利用のためのガイダンスを実施する。
- ・学校図書館担当職員が、司書教諭及び学校司書に対する研修等を実施し、専門性を向上させる。



学校でのブックトーク(※1)



図書館との連携 教職員研修



ブックバックサービス(※2)

(※1) 授業の単元に沿って図書館員が本の紹介を行うもの。

(※2) 1箱50冊×6学年=300冊ごとを学期ごと小学校9校に貸し出すサービス。



団体貸出

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	33,643	26,757	6,886	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	99	0	99	中央図書館貸付料
一般財源	33,544	26,757	6,787	

## 【背景(なぜ始めたのか)】

平成7年5月の開館から、施設や設備を良好に維持管理するために開始した。

## 【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

来館者に安全で快適な空間を提供する。

## 【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

来館者に、より快適な利用環境を提供するため、設備、機械等の管理及び保守点検を実施する。また、老朽化した部分については計画的に修繕等を行う。

[主な施設管理業務] 建物清掃/警備保障/空調設備保守/自家用電気設備保安全管理/自動ドア・昇降機保守/消防設備点検ほか



中央図書館